



令和2年6月26日発行 中等新報第61号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

5年生諸君へ ～戦略的学習を試みよう！～



卒業生の結果と5年生の進路希望

5年生の志望状況

	志望	昨年合格 (延べ数)
国公立大	64	34
私立大学	6	121
文部科学省管轄外大学校	1	1
短期大学	0	0
専修・各種学校	2	6
就職	1	0

Murakami Secondary School 3

「ベネッセコーポレーション」の資料を活用しながら、当校の実情に沿った説明を行う齊藤教諭

ii 努力の仕方を見直す

学習とは、学習に対する考え方や行動のことである。

非効率な学習観	期待される学習観
練習量志向 学習はたくさん覚えたり、練習したりすればよいという考え方。	方向志向 自分のやり方、自分に合った勉強方法を工夫することを重視する考え方。
丸暗記志向 学習内容を丸暗記すればよいという考え方。	意味理解志向 学習内容の意味を考えたり、難し方や考え方を誰かのから学習を促される考え方。
結果重視志向 100点や5教科の点数が高ければよい(結果さえよければよい)という考え方。	思考過程重視志向 思考過程を重視する。その理由を考えることが大切であるという考え方。
他者依存志向 自分から学ぶ、自分で考えるより、すぐ周りの人や、塾などに頼ればよいという考え方。	失敗活用志向 難問など、理解不足に気づき、よりよく分かるようになるという考え方。

NGな学習スタイル・学習観

- ・受け身の学習姿勢
- ・暗記だけの学習
- ・丸暗記やテクニック重視
- ・ドリルなど練習量を重視
- ・分からないとすぐ正解を求める
- ・勉強の「環境」を重視

望ましい学習スタイル・学習観

- ・自主的な学習姿勢
- ・計画的な学習
- ・意味理解や思考過程を重視
- ・効果的な学習方法の追求
- ・分からなくても自分の頭で考える
- ・自分の「行動」が全てと考える

iii テストを受けるだけにしない

目標設定

模試実施
自己採点

復習

振り返り

模試でPDCAのサイクルを強化

- ・次の模擬試験で何点取るか？
- ・科目ごとの目標得点は何か？
- ・時間配分を意識する
- ・自己採点との差異は何点か？
- ・解答解説を読み込む
- ・できなかった分野を明確にする
- ・目標点との差を確認する
- ・前回からの伸びを確認
- ・優先すべき教科の確認
- ・今後の学習計画の立案
- ・納得できるまで十分直し直しを行う

iii テストを受けるだけにしない

「すま時間」を効率的に！！

放課後

登下校中

いつものただなんとなく過ごしていた登下校中や、授業以外の時間もちょっと行動を変えれば、スイッチをオンにしてくれる！

<p>1位</p> <p>単語帳などを持ち歩く</p> <p>小テストで間違えた問題や、覚えていない単語を書き込むノートを作って持ち歩く。</p>	<p>2位</p> <p>暗記ものに取り組み</p> <p>暗記ものは捨てて読まない。覚えた分だけ結果がやすい。</p>	<p>3位</p> <p>通学時間を利用する</p> <p>例えば、目・水・金は英語。火・木は英語なローテーションすると良い。</p>
<p>4位</p> <p>放課後に残って勉強</p> <p>家では課題が多く集中しづらい。わからないところがあればすぐに先生に聞く。</p>	<p>5位</p> <p>学校に早く行って勉強</p> <p>朝は気分がすっきりして集中でき、朝の先生の声に切り替えられる。</p>	<p>6位</p> <p>大学入試を調べる</p> <p>進学先に興味を持って、進路を調べてモチベーションUP。</p>

6月12日(金)、5学年で進路講演会を実施しました。講師は、5年1組担任の齊藤恭広教諭です。進路決定まで2年を切ったこの時期、今後中等生活をどのような意識と姿勢で過ごしていけばよいのか、具体的なデータと気迫のこもった語りで生徒たちに訴えました。

講演の中で印象に残ったのは、今後の受験準備の主役はあくまでも自分自身であるということ。皆に平等に与えられている時間をどのように使っていけばいいか、自分に合った効率的な方法について、試行錯誤を繰り返しながら、自分で見つけることが肝心ということです。今回の講演では、「学習スケジュールの立て方」、「望ましい努力の仕方」、「テストの活用法」等、受験を乗り切るためのヒントがたくさん示されていました。

今春卒業した先輩からのメッセージ(「SCHOOL GUIDE 2021」より)

佐藤 太陽 さん(京都大学理学部・理学科進学/令和2年3月卒業・13期生)

- ・村上中等教育学校の大きな魅力の一つとして、一生役立つ勉強をする機会が数多くあるということがあります。村上中等の授業は、ただ与えられたものを暗記するだけというもの少なく、問題を自分で考え、答えを出す過程自体を学ぶというものが多いです。例えば、数学であれば、解法だけではなく、その解法を思いつくまでの考え方を学び、模範解答以外にも良い解き方がないか考える授業もあります。これはいわば、「勉強する方法を勉強する」ということでもあります。たとえ卒業したあと、受験勉強で覚えたことの全てを忘れてしまったとしても、村上中等で学んだ「勉強する方法」は、その後の人生のあらゆる場面で役立つでしょう。